

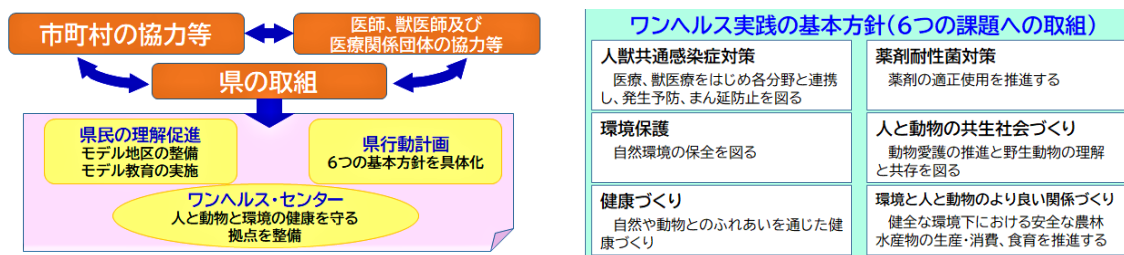
「ワンヘルス教育」が実践されました !!

令和4年8月30日（火）と令和4年9月3日（土）、福岡市にある「私立博多高校」の看護科1年生を対象に、ワンヘルスの実践教育が行われました。

8月30日（火）は、高校において「ワンヘルス座学」を実施。

「感染症とは何か?」「新型コロナウイルス感染症の発生源」についてなどを理解し、「動物由来感染症と人と動物の共通感染症（人獣共通感染症）」や「動物由来感染症流行の背景」等について理解を深めることになりました。

「人獣共通感染症」が、更に人から人に感染すると、時に大規模な世界的流行（パンデミック）となって人類に甚大な被害を及ぼしてきた歴史的背景を理解した上で、「ワンヘルス6つの柱」と、基本の考え方である「いのちの大切さ」について学び、**人間中心の考え方**から、人と動物の共存・共栄という**ワンヘルスの考え方**へ転換する必要性を学ぶ時間となりました。



9月3日（土）は、日本レスキュー協会からセラピー犬4頭が高校訪問。

「セラピードッグ」との触れ合いを通じ、動物介在療法の意義と実施方法を理解することになりました。

「セラピードッグ」とは、触れ合いや交流を通して病気や怪我等で受けた精神的痛みや不安を減らし、心と体を癒す働きをする犬のことです。

「健康」の定義について、これまでの理解を確認した上で、精神的緊張や不安軽減のための看護について学び、セラピー犬と災害救助犬について理解を深める機会となりました。

「**ドッグセラピー**」の効果には、**身体的効果**（体を動かす）、**心理的効果**（犬のお世話）、**社会的効果**（ワンちゃんがあるなら、家から出る→他人との会話のきっかけ）があります。

これらを理解した上での学習は、看護科の生徒には、看護師として患者の心のケアを行う上で、心のケアやコミュニケーションによる関わりが必要不可欠であることが分かった貴重な機会となりました。



セラピードックとワンヘルス

～人と動物の共生社会づくり～

周りの人々からの有形無形の援助をソーシャルサポートと言います。

コミュニケーションは、ソーシャルサポート（社会的支援）の第一歩です。

コミュニケーションとは、言語や文字、そのほか視覚に訴える各種のものを媒介とし、社会生活を営む人間の間で行われる知覚・感情・思考の伝達のことです。

コミュニケーション

セラピードックとは、触れ合いや交流を通して病気や怪我等で受けた精神的痛みや不安を減らし、心と体を癒す働きをする犬のことです。

セラピードックなどの動物による心のケアは、相手の様子を見ながら待ち、意図を汲み取り、伝えたい思いに傾聴する犬の態度が心の安寧をもたらします。

2022年9月8日

福岡ワンヘルス協議会・事務局